

科目名	物理Ⅱ Physics II			担当教員	長谷部一気		
学 年	2年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分 野	一般	授業形式	講義・演習	科目番号	14220020	単位区分	履修
学習目標	工学の基礎となる物理学の基本的な概念や原理、法則を理解し、数式として表現することで、科学的な考え方を定着させる。						
進め方	前期は、力学の基礎と波動の理解を深め、その普遍的な性質を議論する。後期は、熱物理と実験を通じ、物理学の考え方、実験手法を習得するよう進める。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 平面上の運動(3) 2. 運動量と力積(3) 3. 円運動(3) 4. 単振動(3) 5. 万有引力(3) 6. 波の表し方(3) 7. まとめ(3) ----- [前期中間試験](2)			運動量、振動、万有引力、波の基礎的概念について習得する。D1:1-3			
	8. 試験問題の解答(1) 9. 正弦波、エネルギー(3) 10. 干渉と重ね合わせの原理(3) 11. 定常波(3) 12. 音波(3) 13. 発音体の固有振動(3) 14. ドップラー効果(3) 15. まとめ(3) 前期末試験			波の典型的な例である、音についての性質について習得する。D2:1-3			
	16. 試験問題の解答(1) 17. 光波の性質(3) 18. 回折、干渉、偏光(3) 19. 温度と熱(3) 20. 比熱、熱容量(3) 21. 熱力学第一法則(3) 22. エントロピー(3) 23. 授業評価アンケートなど(1) 24. 一般物理実験準備(3) ----- [後期中間試験](2)			熱力学についての基本的な事柄と熱力学量についての理解ができています。D1:1-3			
	25. 試験問題の解答(1) 26. 実験【A:密度測定, B:向心力, C:重力加速度】(4) 27. 実験【D:サークルの実験, E:固体の比重】(4) 28. 実験【F:熱膨張係数, G:固体の比熱】(4) 29. 実験【H:熱の仕事当量 など】(4) 30. まとめなど(3)			(左記のテーマの中から 3~4 人で 1 グループを形成し 2 又は 3 週間毎の輪番で実験を行う。) 実験終了一週間後に報告書を提出。 B1:2,B2:1,B3:1,C1:1,E6:1-3,E1:1,2,D5:2			
	[前期中間試験](2)						
評価方法	前期は中間と期末の試験を行い、その結果を重視した評価を行う。 後期は、中間試験、実験レポートを行い、評価を行う。 課題レポート（ノート）の課題を出す。テスト 70%，課題 30%の割合で評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目	数学，化学						
教 材	教科書：三浦 昇 他 著 「物理基礎」 「物理」 東京書籍，参考書：渡辺 久夫著 親切的な物理 物理実験書：下村 健次 著 基礎物理学実験 増訂版 問題集：数研出版編集部 編 「リードα物理基礎・物理」						
備 考	参考書の内容のまとめ、問題を解答のレポートの提出を課すことがある。 オフィスアワーは、月曜の放課後(16:20~17:00)とする。						